

# さくらだより

第14号

2010年8月10日

社会福祉法人京都老人福祉協会 京都市伏見区深草大亀谷東古御香町59番地・60番地 TEL.075-641-6622 FAX.075-641-6746  
<http://kyoro.or.jp/>



## しとば

副理事長 三代 修

平成24年度に予定されている介護保険制度改定への議論が始まりました。「24時間地域巡回型訪問サービス」のあり方検討会」の初会合には長妻厚労大臣、山井政務官も出席し、3月5日、24時間の継続的な訪問サービスが地域包括ケアの要として期待されています。「夜、何かあったら心配」が施設入所を希望する一番のきっかけとなる事も多く、今後の高齢化の進展、高齢者単身世帯や高齢者夫婦世帯の増加を考えれば必要性について異議のあるものはないでしょう。一方、特別養護老人ホームへの入所申込者が42万人にも上る事が報道されました。利用総数(定員)が40万ほどなので、特養が足りないとも言えるでしょう。

世界一の借金大国になった日本にはもはや特養もほとんど作り、在宅ケアもどんどん充実させていくという選択は至難の業とみえます。消費税に頼る事もどこまでできるのか見えません。特養に入らなくてもすむ社会づくりのキーワードが地域包括ケアや地域内の互助だと言われています。コミュニティを育む、豊かな人間関係を育む事なしに地域で安心して暮らし続ける事はかなわないでしょう。



ハートで  
ぬくもりと安心を  
お届けします  
京都老人福祉協会

# 「関係性を育む」

小栗栖の家ほっこり 宮本真弓

小栗栖の家ほっこりも、おかげさまで5月で一周年を迎える事ができました。この一年あつという間に過ぎていったように思います。



「私の自慢の孫家族です」一緒に作る食事会（一周年行事）

思えば一年と少し前、小栗栖の家ほっこりが完成しました。スタッフは初めて会う仲間がほとんどで、お互いをまだ知らない同士でのスタートでした。準備期間の間は、家具選び、シフト、マニュアル作りなど沢山決まなくてはいけないことばかりでした。しかし同じ思いを持った仲間です。ああでもない、こうでもない色々な意見を出し合い、少しずつ互いを受け入れ、仲間意識を育んでいきました。

竣工式では、今までにない緊張感とこれからへの期待で胸がいっぱいになったのを覚えています。

小栗栖の家は小規模・特養・高専賃の三つの事業を行っております（特養2ユニットの18名、高専賃は14戸）。開設してから利用者、入居者の方を少しずつ受け入れさせて頂きながら、ゆっくりと一人ひとりに関わり、関

係作りに心がけました。

私が一番お伝えしたい事は、この三つの集まりを三つと考えないで一つとするところなんです。

利用者も入居者もスタッフも皆が顔を知っているし、居酒屋、夏祭り、畑開きなど、何か集まる事があれば皆で行います。だから、小規模を利用されている方と高専賃に入居されている方が仲良くなるし、特養にも遊びにいっちゃう、ご家族さんも自然とほっこりの一員に。

それが小栗栖の家ほっこりなんです。

まだ一年ですが利用者、入居者、ご家族さん、スタッフの繋がりは温かいのを感じます。利用者が教えて下さる料理、スタッフが考える日々のケア、



「おじょうちゃん、うまくすくえたか…」祭りにて

家族が来て下さる安心感、色々な事が自然と育まれているように思います。

まだまだ至らない事が沢山ありますが、皆さんに助けられながらも、小栗栖の家ほっこりだからこそ育める事が沢山あるのではないかと思っています。

お近くにお越しの際は、ぜひ小栗栖の家ほっこりに遊びに来て下さいね。

# 「絆」

京都老人ホーム特養介護職員 森 静香

私が特養に勤務して2年目になりました。

特養で生活されている利用者さんからすると私はちょうど、孫・曾孫世代になるかと思われ

ます。ご家族との面会后、ある利用者さんと「家族さん来てくれはって良かったですね」等とお話をしていました。すると突然、「お姉ちゃん…」と涙ぐまれてしまいました。「お姉ちゃんも、うちの孫と同じぐらいやね。お姉ちゃんが頑張っていると、孫も頑張っているように思えて…」たまにしか孫には会えへんけど、お姉ちゃんがここに居るから、頑張れるわ。励まされる」と言

って下さいました。こんな、まだまだ未熟者の私の存在で励まされるなんて…恐縮ですが、とても嬉しい限りです。私たち職員は、どんなに頑張っても利用者さんの家族になる

ことは出来ないし、家族にはかなわないのかもしれませんが、ですが、共に生きていく中で、互いに支え合って絆を育んでいけるような…そんな素敵な関係になれると思います。

私にとっては、利用者さんの笑顔やしぐさ、言葉…全てに励まされ、勇気をもたらしています。私のパワーの源も利用者さんによって育まれているのだなと日々実感しています。

特養ではホームで最期を迎えられる方も多いです。

このお仕事に就くまでは「お別れ」は悲しいこと、あまり経験したくないことだと正直、思っていました。

ですが、「お別れ」は利用者さん・ご家族の方にとっては「人生を全うされること」だと思えます。だからこそ、「しっかりと看取りたい！」という気持ちも強くなりました。

人生を全うされるその日まで…私は利用者さん・ご家族の方

との絆を育み続けていきたいです。



歌の広場



せんせい きたよ



ねえねえ あそぼうよ

毎年どのような子ども達や保護者の方々の出逢いを楽しみにしながら一年がはじまります。今年はお歳児クラスを担当することになりました。入園当初は、環境の変化から泣いて不安定な子ども達。眠い事はわかっ

ていても、母乳を飲んでいたりどもは特に布団で眠るまで悪戦苦闘、あの手この手と関わっています。子ども達との信頼関係を深めていくと、全ての欲求や要求を泣いて知らせている子ども達の気持ちが自然と理解でき

ます。今では関わりもスムーズになり、子ども一人ひとりが安定した気持ちで過ごせる様になってきました。入園より2ヶ月ですが表情が豊かになり、「おいでおいで」「ちょうだい」などの担任の動作を真似てぶ姿が見られたり手遊びも楽しめる様になってきました。友達に興味をもち始め、ハイハイや腹這いで近づいていき、顔を触ったり笑いあったり微笑ましい姿が見られるなど、日々の生活を通して成長を感じなが



保護者の方と一緒に

ら楽しく過ごしています。不安な気持ちで保育園に預けておられる方には、安心して頂ける様に家庭的な保育を心がけながら、保護者の方とのコミュニケーションを大切にしています。成長の著しい乳児期なので、日々の発見や成長を保護者の方と共に喜び合いながら、これからも楽しく子ども達と過ごしていきたいと思えます。

### 愛情いっぱいのお育て

うづら保育園

酒巻 文代

### 実り

きつちんさくら

調理師

芦田 友紀



私たちがメンバーです

「あ、ピーマンができた！」 「そこ、ちっこいキュウリもいるで」「水やりせなあかん」さて、

一体何の話でしょう？ 答えは、最近のきつちんさくらの職員間での日常会話です。

というのも、私が初めてリーダーを務めた、部署内プロジェクト「課題形成」の一環でのこと。京老「大食堂」をご利用者や職員が常に集まる様な、温かく魅力ある場所にしたいというメンバーの思いから始まった活動です。食堂から見える手付かずのテラスを清掃

美化、花壇の雑草抜き、そして土を耕し、苗植えからの野菜作りを行いました。当初は、通常業務に加えての活動で、水やりを忘れ、人任せになったりと、思う様には行きませんでした。けれど野菜は生き物、まったなしです。このままでは、実る前に枯れてしまいます。どうしよう…。そこで一か八かの策を講じ、会議でメンバーに「本当に続ける覚悟があるのか？」と問い、人員交代や活動中止をも考えていると思いの丈をぶつけてみました。その結果、皆が「ご利用者に喜んで頂く為に続けたい」との思いを口にし、担当を決めて、各々が責任を持って携わる仕組み作りからの、再出発となりました。そして今日、メンバーの手で野菜たちはすくすくと育まれています。水やりや野菜の手入れをしていると、ご利用者に声をかけて頂いたり、野菜の成長や収穫を共に喜び合ったりと、各々学び得るものがある様です。この活動を通じて、私達が常



ピーマンが実った

日頃、手や口に使っている食材が大切に守り育てられた事を知り、成長や発展を願って、人を育成する難しさや楽しさを実感でき、そして、私達の思いがご利用者に繋がり、今なお関係作りを育んでいるという素晴らしい実りがあった事を心から嬉しく思います。次はこの『にこにこ農園』で大切に育んだ野菜を収穫、調理して、ご利用者のお体と心の栄養になるような食事をお届けし、「おいしかったよ」の一声が頂けるよう努めたいと思えます。



おやすみ  
なごい……

おねんね  
かひんかひん

## 平成21年度決算報告書

社会福祉法人 京都老人福祉協会

### 貸借対照表

平成22年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	629,653,230	流動負債	97,418,512
固定資産	2,769,790,747	固定負債	1,249,065,435
基本財産	2,253,396,807	負債の部合計	1,343,483,947
その他の固定資産	516,393,940	<b>純資産の部</b>	
		基本金	218,250,000
		国庫補助金等特別積立金	854,480,291
		その他の積立金	308,412,167
		次期繰越活動収支差額 (内当期活動収支差額)	674,817,572 37,326,331
		純資産の部合計	2,055,960,030
資産の部合計	3,399,443,977	負債及び純資産の部合計	3,399,443,977

### 事業活動収支計算書

自平成21年4月1日 至平成22年3月31日 (単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	1,951,841,339	介護保険収入	2,103,599,786
直接介護費	388,726,843	措置費収入	161,480,635
一般管理費	298,022,316	診療収入	22,807,846
利用者負担減免額	3,802,210	ヘルパー 講座収入	1,246,000
減価償却費	88,052,072	私的契約利用料収入	688,013
徴収不能額		経常経費補助金収入	19,059,671
引当金繰越	34,181,103	国庫補助金等特別積立金取崩額	46,542,921
事務費支出 (うづら保育園)	8,344,647	運営費収入 (うづら保育園)	54,599,950
事業費支出 (うづら保育園)	6,044,854	利用料収入 (うづら保育園)	3,701,700
		雑収入 (うづら保育園)	110,000
		自立支援費収入	89,254,623
		高専貸収入 (さくらハウス)	15,343,800
		その他の事業収入	298,554,501
<b>事業活動支出計</b>	<b>2,779,015,384</b>	<b>事業活動収入計</b>	<b>2,816,989,446</b>
借入金利息	24,768,392	借入金利息補助金収入	4,972,938
雑損失	2,583,995	受取利息配当金収入	100,099
経理区分間繰入金支出 (うづら保育園)	0	寄附金収入	9,705,739
		雑収入	17,919,955
		雑収入 (事外)	297,205
		経理区分間繰入金収入 (うづら保育園)	0
<b>事業活動外支出計</b>	<b>27,352,387</b>	<b>事業活動外収入計</b>	<b>32,995,936</b>
国庫補助金等特別積立金積立額	8,487,000	施設整備等補助金収入	10,887,000
固定資産除売却損	18,078,013	固定資産受贈額	0
他会計区分繰入金支出	911,415,966	固定資産売却益	19,177,945
その他の特別損失	18,697,669	他会計区分繰入金収入	911,415,966
		その他の特別収入	8,906,457
<b>特別支出計</b>	<b>956,678,648</b>	<b>特別収入計</b>	<b>950,387,368</b>
その他の積立金繰入額	0	(当期活動収支差額)	37,326,331
次期繰越活動収支差額	674,817,572	前期繰越活動収支差額	581,330,199
		その他の積立金取崩額	56,161,042
<b>支出の部合計</b>	<b>4,437,863,991</b>	<b>収入の部合計</b>	<b>4,437,863,991</b>

### ～役職者異動のお知らせ～

2010年4月1日付で、次の通り就任いたしましたので、お知らせいたします。

三代 修 京都老人福祉協会 副理事長 及び法人組織管理業務法令遵守責任

柴田 雄一 特別養護老人ホーム京都老人ホーム・養護老人ホーム京都老人ホーム 施設長



世代間交流うちわ作り

例えば、産まれた赤ちゃんは育まれるわけですが、赤ちゃん自身も、親やまわりの人達みんなに「かわいいい」といって、優しい気持ちで育まされています。また、人が地域に住んでいること

「はぐくむ」とは、改めて広辞苑でひいてみました。「羽包む」の意) ①親鳥がその羽で雛をおおい包む。②養い育てる。③なでいつくしむ。④かばい守る。守護する。⑤治療する。何回もこの意味を読んだり考えたりしているうちにはたと気がつきました。「育む」とは子供を育むとか、動植物を育てるとか、そんな狭義なことだけではなく、生きていることそのものが「育む」との連続なのではないかということとです。

は、地域社会を育んでいますし、家族がいれば、家庭という場を育んでいます。病気さえも、治療するということが、当事者本人を育むことであり、医療現場(環境、施設)を育んでいるといえます。しかし、そこに破壊や破綻というマイナス要因が表れると「育む」という行為が停止してしまうという不幸なことになります。それをまた修繕し「育む」ことを再開する力を人間は持っていると思います。さて、稲荷の家ほっこりには、様々なものを、育んでこられた利用者が集まってこられます。現在では、二階で子育て支援事業をしていることから、子供からお母さん、いろんな世代の職員、高齢者の方が同じ空間で過ごされています。月に一回は学生さんも来られ、一緒に行事を楽しんでいます。お一人お一人の育まれてこられた人生が集まって、また稲荷の家ほっこりも、育まれていきます。

皆様、初めてご挨拶させて頂きます。4月から養護老人ホームで主任をさせて頂いている多田と申します。日々利用者の皆様やご家族に教えて頂く事ばかりで、ご迷惑をおかけしておりますが、よろしくお願い致します。さて、今回のテーマ「育む」という言葉を聞いて頭に浮かんだのは「人を育む」という事でした。辞書には「養い育てる事」「大切に守り、大きくする事」とありました。という事は私が思い浮かべた「人を育む」という事は「人を大切に守り、育てていく」という大きな大きなテーマになります。自分が人を守る為に何をすべきなのかをきちんと考えていかなければいけないと思っています。では、具体的には何をしたいかという事ではないのか? 当たり前の事ですが、「今さら」と思われるかもしれませんが、自分が嫌な事は人にしない、という事だと思っています。



みんなと一緒に

## みんなで「ほっこり」

稲荷の家ほっこり 東城隆子

## 人が大切

養護老人ホーム主任 多田健一郎

「自分の言葉を相手はどんな風に受け止めるだろう?」それをきちんと考えながら口にしていく事が「人を大切に守る」という事の第一歩だと思っています。そんな一歩一歩を歩きながら、少しずつ前に行ければと思っていますので、皆様よろしくお願致します。

# 伏見エリア紹介

私が所属する伏見エリアには、東高瀬川センター、伏見センターほっこり、板橋の町家ほっこりの三つの事業所があります。

東高瀬川センターには、デイサービスセンター、ショートステイ、居宅介護支援センター、地域包括支援センターがあります。

伏見センターほっこりは、訪問介護の事業所です。

そして今回ご紹介させて頂く板橋の町家ほっこりは大正9年に建てられた町家を改築した建物で、小規模多機能型居宅介護、他に認知症対応型通所介護を行っており、担当地域は板橋学区・住吉学区・南浜学区です。

小規模多機能型居宅介護とは、平成18年4月から介護保険法で新設された地域密着型サービスの一つです。

「通い」を中心に、随時「訪問」や「泊り」を合わせて、在宅での生活を支援させて頂くサービスです。サービスが変わると、職員が変わるのではなく、どのサービスも顔なじみの職員が対応させて頂きます。

また、同じ建物の中に「和喫茶さくら」という喫茶スペースがあり、季節限

東高瀬川センター



板橋の町家ほっこり



板橋の町家ほっこり 座敷から眺める中庭

定のうどんや黒豆コーヒー、ほうじ茶アイスなどを高い吹き抜けのあるスペースで召し上がっていただいたり、中庭の見える座敷で召し上がっていただくことも出来ます。

座敷には小さなお子さん用のおもちゃが置いてあり、お母さんと一緒に来られたお子さんが楽しそうに遊んでいる姿を見たり、時にはデイサービス、小規模のフロアに遊びに来て下さる子供さんもあります。その時の利用者さんの楽しそうな顔を見ていると、我々職員もうれしくなります。

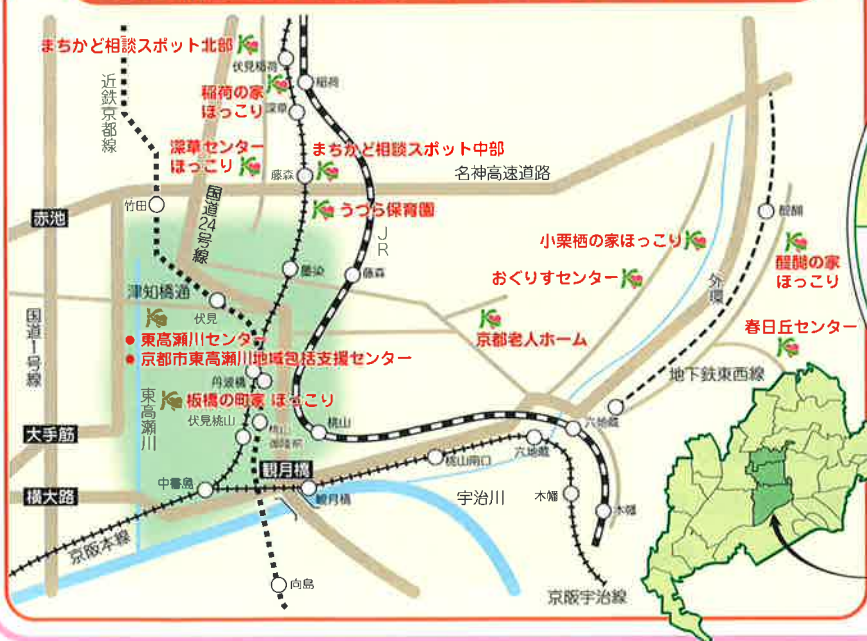
板橋の町家ほっこりには、たくさんの方のボランティアさんが来て下さいます。尺八の演奏や日本舞踊、絵本や紙芝居を披露して下さる方、いろいろな国のオルゴールの音色を聞かせて下さる方など、楽しみがいっぱいあります。

先日、絵本、紙芝居のボランティアさまが来られた際には、近所にある保育園の園児さんをご招待させて頂き、年長組10名が遊びに来てくれました。絵本の朗読や紙芝居の他に、みんなで一緒に歌体操をしました。今回に限らずまた遊びに来ますと笑顔で手を振ってくれた園児さん、保育園に遊びに来てねと誘ってくれた園児さん。ぜひ近いうちにお会いしましょうね。

地域密着型の小規模多機能型居宅介護にとつて、近所さまとのつながりはとても大切なものです。今回のような小さな子供さんとのふれあい、あるいは地域の方とのふれあいの場をたくさん作り、地域に根付いた施設を目指していきたいと思っております。

板橋の町家ほっこり 上原

## 社会福祉法人 京都老人福祉協会グループ



京都老人福祉協会の

**WEB**サイトを  
リニューアルしました!  
<http://kyoro.or.jp>

利用者、一般の方のためのサイトや就職情報サイト、各事業所の日常生活を綴ったブログなどいろんな情報を公開しています！ぜひアクセスしてください。



住吉学区  
板橋学区  
南浜学区